

第3回復職支援セミナーは11月24・25日開催

看護復職支援セミナー通信 第3号

2010年7月号

セミナー体験後、就職されたかたちへアンケートをとりました。

Q：専業主婦から職業人として働きはじめて自分の変化はありましたか？

- *働きはじめて1年が過ぎてだいぶ慣れましたが、はじめは自分のできることが少なかったのが気持ち的に疲れを感じていましたが色々できることが増えて仕事がたのしくなってきました。
- *生活にメリハリがついて私にとっては仕事をはじめてよかったです。
- *看護師として働くということは看護師にしか感じたり味わうことのできないことも沢山ある反面、専門職業人としての責任を日々強く感じながら働いています。

Q：看護師として再就職したことにどのような喜びを感じていますか？

- *微力ながらも患者さま・ご家族の方々に手助けできることです。
- *復職しなかったらずっと後悔していただろうという思いをなくせたこと。
- *仕事をしていると一人の人間として生きている実感があります。達成感があるというか充実しています。
- *ひとつの手技や、今やらなければならないことが出来たとき、自分がかかわった患者さまが喜びの感情をあらわしてくれたとき。



あなたをまっ
ている患者さ
んがきつとい
ます

7月をすぎて釧路の夏到来となりました。春の新人職員を迎えてからはや3ヶ月。フレッシュな風がいろいろなところで吹いています。道東勤医協で開催した看護職復職支援セミナーはこれまで3回開催し

ましたが、14名が復職しその後転勤などで退職され現在9名のかたが道東勤医協に看護師としていきいきと勤務されています。次回の復職支援セミナーは11月24・25日の予定です。また一緒に勉強しませんか？

先輩からのエール☆

- *自分の性格・就業経験・出産・夫の転勤などで長い間躊躇していました。勇気をもってセミナーに参加したことで今があります。本当にいい職場に恵まれました。
- *やらないで後悔するより一歩踏み出してみたほうが自分のためになることがたくさんあります。
- *頑張りすぎず自分のできることから少しずつ一歩を踏み出してみたいです。
- *日々の充実が得られる、患者さんの笑顔だったり、今日できなかったことが何日かあとに出来たり新しいことの発見が。一歩を踏み出せば今日と違う明日があるかも...

きらり★看護紹介

6月のある晴れた土曜日。人工呼吸器をつけ6年間入院している患者さまの誕生祝いに和太鼓の演奏会を行いました。練習は仕事が終わってから、医師2名と看護師たちが遅くまで練習しました。多くの入院患者さまと職員ボランティアで楽しいひとときをすごしました。



編集後記



協立病院の看護 BLOG ごらんいただいたことがあるでしょうか？
きらり看護をたくさん紹介しています。
あなたも、看護の喜びを一緒に感じてみませんか？

連絡先

道東勤医協 釧路協立病院

看護長室

法人看護部長 田辺

協立病院総看護長 宮本

TEL0154-24-6811(代)



道東勤医協では随時看護師・保健師・准看護師の募集をしています。夜勤の可能性がた以外に、さまざまな条件の相談にのります。ぜひ、お問い合わせください。

